

認知症看護について



認知症看護認定看護師 森田 由紀子

9階病棟看護主任の森田です。この度「認知症看護認定看護師」の資格を取得しましたので、認知症看護について紹介をさせていただきます。

認知症高齢者は2012年に300万人を超え、この10年間で倍増していることが厚生労働省の推計で明らかとなりました。これは65歳以上の人の10人に1人にあたります。さらに2025年には470万人に達するとされています。その背景には、急速な高齢化に加え、認知症の啓発が進んで、診断を受ける人が増えたことが大きいとみられています。

当院でもあらゆる疾患で治療を受ける患者さんに認知症の人が増加しています。

一般的に、認知症とは「獲得した知的機能が後天的な脳の器質性障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活が営めなくなっている状態で、それが意識障害のないときにみられる」と定義されています。記憶障害、見当識（年月や時刻、自分がどこにいるかなど、現在の状況を把握すること）障害といった症状がみられ、様々な行動・心理症状（周辺症状）を伴う場合もあります。

認知症看護とは、そのような状態にある人がよりその人らしく健やかに生活していくために、認知症の人およびご家族に寄り添い、支援していくものです。認知症をもつ人自身やご家族は、様々なことで悩みや困難を抱えています。認知症の人にとって最も大切なのは、どんなときにもその人の尊厳をしっかりと支える関わりであり、何が不安や混乱を引き起こす要因になるのかをよく理解して関わるのが大切です。

高齢の患者さんや認知症の患者さんは、入院により環境・生活リズムが変化することや疾患による心身の苦痛により、せん妄や行動・心理症状を引き起こすことも少なくありません。それらを予防・緩和し、安全に安心して入院生活を送っていただけるようスタッフと協力し支援したいと考えています。

認知症看護認定看護師として、認知症に対する正しい理解の普及と患者さんの尊厳を高め、看護の質の向上を図ることを目指して活動しています。よろしくお願いたします。



薬剤部のご紹介

はじめに（薬剤部長就任のご挨拶）

薬剤部長 東海 秀吉



平成24年10月1日付けで薬剤部長に就任しました東海秀吉です。

就任後、あっという間に2か月余りが過ぎました。そろそろ準備も整い、これから本腰を入れ薬剤部職員全員が一丸となって新生薬剤部の創設に向けてスタートを切っていきます。元気な薬剤部が院内の各医療職との連携を強化し、チーム医療を率先して実現することにより、よりよい医療を患者さんに提供できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は、これまで大阪市立大学医学部附属病院で昭和57年10月より30年間勤務し、平成8年には、薬剤師がチーム医療の担い手として病棟に出向くきっかけとなった薬剤管理指導業務に携わりチーム医療に参画し実践すること9年、また、平成17年には厚生労働省が行っている治験整備事業である新たな治験活性化5カ年計画の治験拠点医療機関の一つとして国内の治験・臨床研究の活性化に7年間に亘り携わってきました。

昔は、薬剤師は調剤・製剤・医薬品情報提供・医薬品管理など薬剤部内の仕事がほとんどで、医療現場では姿の見えない存在として言われ続けてきました。しかし、最近では、入院患者さんへの服薬指導、処方提案、重複・過量投与のチェック、持参薬の確認などの薬剤管理指導業務を通じて医師や看護師との連携、あるいは抗がん剤の混注を中心とした化学療法への参画など業務内容も大きく方向転換しています。そのことから、当院でもチーム医療並びに医療安全に貢献できる薬剤部の底上げが急務となっています。

私のこれまでの薬剤師としての経験の半分以上は、医師・看護師・放射線技師・臨床



検査技師の方々との臨床現場におけるチーム医療の実践でした。これらの経験は、これから薬剤師が医療現場で実践していかなければならないことを、この大阪鉄道病院で実現できる礎になるものと確信し、真剣に取り組んで行く所存です。

各/室/のご紹介

調剤室

外来・入院患者さんの内服・外用薬の調剤を行っています。高齢や目の不自由な患者さんが自己管理しやすいよう、自動錠剤分包機を活用し、一包化（薬剤1回服用分を1包にまとめる）もを行っています。また、薬剤師は用法用量や相互作用などを確認したのち、調剤を行っています。

医薬品情報室（DI室）

DI室では医薬品に関する情報（添付文書の改訂、安全性情報など）を日々チェックしています。また、医師・看護師に向けて、副作用・適正使用情報などを提供し、医薬品に関する問い合わせにも対応しています。薬剤部だよりとして採用薬情報、副作用情報、安全性情報などを院内に定期的に発信しています。医薬品に関する情報は、医薬品の選択時や患者さんへの服薬指導時などで常に活用されています。

化学療法センター調剤室

化学療法センター調剤室は、抗がん剤治療を受ける患者さんの薬剤の混合を行っています。また、投与量や投与間隔、投与方法が計画通りであるか照合しています。

薬剤管理指導室

薬剤師は、患者さんが入院するときにお持ちいただいた持参薬を確認し、その後は服薬指導を行っています。今後は、薬物療法の効果や副作用、薬剤の服用状況、薬物血中濃度などを総合的に判断し、処方設計、用法・用量・剤型の変更、必要な検査の実施など積極的に医師に提案するとともに医薬品情報提供や、病棟配置薬の管理、病棟におけるリスクマネジメントなどにも関与していきたいと考えています。薬剤の効果や副作用を薬剤師の視点からもより正しく評価できるように、フィジカルアセスメントを積極的に取り入れたいと考えています。

薬剤管理事務室

医薬品の購入から使用まで、品質や安全性、経済性を考慮し、採用医薬品を管理する業務を行っています。また、手術室へは毎日、外来診療科、画像センター、滅菌室、臨床検査室には定期薬を週1回、緊急使用医薬品については随時取り揃えて供給しています。

製剤室

市販されている医薬品を使用目的に合った剤形に変更あるいは市販されていない薬剤を調製するなどのいわゆる院内製剤の調製を行っています。今後は高カロリー輸液製剤のミキシングの実施を検討していく予定です。

麻薬管理室

医療用麻薬（内服薬・外用薬・注射薬）の日々の在庫管理、使用状況の確認、返却・廃棄処理を行っています。麻薬は疼痛治療や手術時に用いられ、非常に有用な薬剤ではありますが、麻薬という性質上適正な管理が必要です。

クリスマスコンサート 開催のお知らせ



▲ 昨年のクリスマスコンサートの様子

患者さんやご家族の皆様にあらいでいただくため、恒例のJR西日本吹奏楽団によるクリスマスコンサートを、平成24年12月22日（土）15：00～16：00に大阪鉄道病院1階エントランスホールにおいて開催いたします。

クリスマスに合った楽曲、患者さんや参加された方と一緒に歌っていただける曲を演奏します。

事前の申込みは必要ありません。また当日は、病院スタッフが会場のご案内や移動の介助などのお手伝いをさせていただきますので、皆様お誘い合わせのうえ、ご参加をお願いいたします。

健康レシピ



冬定番の12月。年末年始の宴会で胃腸を酷使する時期でもあります。体を温め、胃腸にやさしい料理で体をいたわりましょう。

長芋にはでんぶんの消化を助ける消化酵素アミラーゼが含まれています。

宴会続きのこの時期に、消化を助ける酵素を含む長芋のさっぱりとした丼はいかがですか？

* 消化を助けるアミラーゼを含むお手軽レシピ * ＜梅とろきつね丼＞ 1人分

①油揚げ（20g）を5mm幅の短冊切りにし、フライパンでカリカリになるまで炒りする。

②丼に温かい御飯150g程度をよそい、①の油揚げ、おろした長芋（80g・約4cm分）、たたき梅（5g・約大1/2個）小口切りにした万能ねぎ、七味とうがらしを適量のせ、めんつゆを適量かける。

（391Kcal 塩分0.4g）

大阪鉄道病院の 花ごよみ

大阪鉄道病院では1階外周部と5階屋上に植栽を設けており、その植栽の中から季節にちなんだ植物を紹介していくシリーズの第3回目は冬の花です。しかし、冬は花の少ない時期。当院でもあまり種類がありません。その中で今回紹介するのはクリスマスローズ（キンポウゲ科）です。あまり馴染みがないかもしれませんが、その名の通りクリスマスの頃に白いバラのような花を咲かせることから名付



クリスマスローズ（ヘレボルス・ニゲル）けられたものです。

しかし、本当の意味でのクリスマスローズは、（ヘレボルス・ニゲル）という品種だけで、市場に出回っているものは、ほとんどが春の復活祭の頃に開花するレンテンローズ（ヘレボルス・オリエンタリス）という品種です。このレンテンローズという名前は、キリスト教のレント（受難節：復活祭前の6回の日曜日を除いた40日間のこと）の頃に咲くことに由来するといわれています。つまり、2月～3月頃に咲くバラのような花というわけです。

当院のクリスマスローズはどちらの品種でしょうか？5階屋上庭園の円形花壇に植えられています。



レンテンローズ（ヘレボルス・オリエンタリス）

「健康講座」開催の ご案内

12月 日 時 平成24年12月25日（火）
場 所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講 師 大阪鉄道病院 血液内科 和田 勝也
内 容 骨髄異形成症候群と高齢者の白血病

1月 日 時 平成25年1月22日（火）
場 所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講 師 大阪鉄道病院 循環器内科
内 容 講師名を含め、決定次第ホームページ等でお知らせします。

2月 日 時 平成25年2月26日（火）
場 所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講 師 大阪鉄道病院 看護部 森田 由紀子
内 容 決定次第ホームページ等でお知らせします。

3月 日 時 平成25年3月26日（火）
場 所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講 師 大阪鉄道病院 臨床検査室 内野 義彦
内 容 決定次第ホームページ等でお知らせします。

- ★定員60名・無料
 - ★予約は不要です
- どなた様も、ご自由にお越し下さい。

